

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	【馴染みの人や場との関係継続の支援】 感染予防対策の面会制限緩和により、ご家族や知人の方々と交流ができるようになってきているが、より開放的に馴染みの関係や地域社会との交流を実施できるようにしたい。	感染予防対策を継続し、外出支援や面会、季節毎に参加回数を増やし、地域社会との関係を継続していく。	感染対策を継続し、ご家族様や知人の方々とゆったりと楽しく過ごすことができる面会方法を工夫していく。(居室での面会等)馴染みの場所の訪問や、季節の行事や地域行事への参加で地域社会との関係を継続していく。(保育園や小学校等との行事への参加、散策等実施)	12か月
2	33	【重度化・終末期に向けた方針の共有と支援】 入居者の重度化に伴い看取りケアの充実が課題となっている。	重度化しても「その人らしい」生活を送ることができるように多職種の連携と職員間の看取りケアの充実を図る。	内部研修・外部研修に参加し、看取りケアについて学び、職員間で情報共有する。多職種連携により主治医、訪問看護への相談、お客様のご家族との話し合いを随時行っていく。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。